



「Inter BEE 2015」出展のお知らせ
～メタノール形燃料電池の新規開発品を展示～

 三菱ガス化学株式会社

2015年11月10日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井敏磨）は、11月18～20日に開催される展示会「Inter BEE 2015」にて、直接メタノール形燃料電池（Direct Methanol Fuel Cell, DMFC）を用いた電源装置を紹介致します。

DMFCは災害時の非常用電源や屋外用電源として期待されています。当社のDMFCは日本放送協会（NHK）と共同開発、実証試験しており、放送機器に適した仕様となっています。本展示会では、従来のモデルから小型軽量化などの改良を施した新規開発品「MGC-FC46」を展示し、放送業界に向けての普及を図ります。

ご来場の際には、是非当社ブースにお立ち寄りください。

■主な展示製品

可搬型 DMFC 電源システム MGC-FC46



定置型 DMFC 無停電電源システム MGC-FC56



※直接メタノール形燃料電池（DMFC）の詳細については次頁をご覧ください。

■展示会詳細

Inter BEE 2015

会期：2015年11月18日（水）～20日（金）

場所：幕張メッセ

ブース番号：5202

WEB サイト：<http://www.inter-bee.com/ja/>

<本件に関するお問い合わせ先>

天然ガス系化学品カンパニー 企画開発部 03-3283-4763

<参考>

直接メタノール形燃料電池 (Direct Methanol Fuel Cell, DMFC) とは

メタノール水溶液を水素に変換することなく直接燃料とする固体高分子形燃料電池。

DMFC のメリット

- ・水素を燃料とした燃料電池と比較し、燃料の取り扱いや保管、輸送が簡便であり、安全性が高い。
- ・リチウムイオン電池等の各種二次電池を使用した無停電電源装置と比較し、長時間のバックアップが可能。
- ・ガソリン等の燃料を使用した内燃機関発電機と比較し、燃料の長期保存が可能。運転時の騒音が低い。窒素酸化物 (NOx)、硫黄酸化物 (SOx)、一酸化炭素などの有害性物質を排出しないため、屋内運転が可能。

用途例

- ・定置型：放送用機器・携帯基地局等のバックアップ電源、自治体・企業等の非常用電源
 - ・可搬型：放送用機器用、屋外用、レジャー用の電源。
- また、震災などの災害時にも電源として力を発揮することが期待されています。

試験運用実績

- ・NHK 静岡放送局のご協力の下、2013 年 11 月より御殿場 FPU 基地局舎内にて定置型を非常用電源として設置、試験運用を開始。
 - ・NHK 放送技術局のご協力の下、ゴルフ中継等で試験運用を実施。
 - ・当社新潟研究所内で 1 年を通じた屋外耐環境試験を実施。
- いずれの事例においても、安定的に稼働することを確認しております。

以上